豊友会九州支部「昭和を語ろう会（75 歳以上の会）」

実施日: 2023 年 4 月 18 日
幹事役: 大和 千靱(文)、渡瀬 志津子

２１年前に少人数で発足した九州支部は、今では１００名近くの大所帯になった。一方で、支部立ち上げに苦労し、あるいは初期の役員として活動された年配の方々の、支部催しへの参加が少なくなってきたように危惧される。そこで今回、７５歳以上の会員で久々に集まってはどうかとの声が上がり、「昭和を語ろう会」 という名称での飲み会を企画し、実施したので報告する。

４月なのに 27 度という夏日の夕刻、博多駅横のグリーンホテルに懐かしい顔ぶれが集まった。なお、事務局兼連絡担当として、渡瀬さんが熊本から参加してくれた。
かしこまった会ではないので、挨拶なんかは省略で早速乾杯！持参したパソコンで支部発足以来の総会や懇親会、同好会（釣り・ゴルフ・歩こう会）の懐かしい写真のスライドショーを見ながら、その時その時の思い出話に花が咲いた。釣りあげた見事な鯛を抱えた写真に、「幾らで買うたと？」のヤジが飛ぶ。一方では、既に亡くなられた方々の楽しそうな笑顔の写真が寂しい。

「あんた、今何しようと？（何をしてる？の博多弁）」の質問から、自然の流れで近況の話となる。８０歳以上の方は特にお元気だ。

支部最年長８６歳の大先輩は７９歳からピアノを習い始め、ピアノ教師の若い美人姉妹と親しいお付き合いをされているとニコニコ笑顔でのお話（スマホの証拠写真は超美人）、次の先輩は８５歳で毎日の野山歩きを日課とし、４万キロ走破を目指す超健脚の先輩に始まり、次いで大病から奇跡の回復を遂げて歩こう会にも復帰された先輩、そして帯状疱疹で手首の神経をやられたと言いながら今日も１００㎏のバーベルを上げてきたという元重量挙げ（ベンチプレス）優勝者など、若い人よりはるかに元気な先輩たちの近況には感嘆の声が上がった。
少ない人数ならではの気さくな飲み会で会話は盛り上がり、いつの間にか時間が過ぎ去った。
またの再会を約束し、楽しかった 「昭和を語ろう会」 を散会した。